

命を賭ける男 (1958)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 102分
初公開日 1958/04/29

【解説】

「忠臣蔵」の八尋不二によるオリジナル脚本を「遊侠五人男」の加戸敏が監督した娯楽時代劇。長谷川一夫扮する幡随院長兵衛と市川雷蔵演じる水野十郎左衛門との宿命の対決を描く。

白井権八は旗本の組に喧嘩をふっかけられていたところを、幡随院長兵衛に救われる。長兵衛は権八を気に入り自宅に迎え入れた。長兵衛の子分たちに連れられ吉原へ出かけた権八は、そこで初恋の相手と瓜二つの小紫と出会う。同じく小柴を呼ぼうとしていた白柄組とトラブルが起きそうになったとき、長兵衛と、白柄組の頭領である水野十郎左衛門が姿を現した。そして権八の起こした事件が元で、長兵衛と十郎左衛門は再び相まみえることになるのだが…。

【クレジット】

監督 加戸敏
製作 永田雅一 [製作]
企画 浅井昭三郎
脚本 八尋不二
撮影 牧田行正
美術 上里義三
音楽 鈴木静一
出演 長谷川一夫
川口浩
市川雷蔵
山本富士子
近藤美恵子
浦路洋子
田崎潤